

水性完全無機コート

AD-Tech COAT

取扱説明書



既設、ステンレスのメンテナンス方法

工具紹介 I

ポリッシャー



写真は、リョービ製「PE-2010」です。
その他のものでも問題ございません。

オービタルサンダー



写真は、マキタ製「M931」です。
その他のものでも問題ございません。

ウールバフ



ウールバフは短毛の物をお選び下さい。
直径の大きいものが効率的です。
写真は、直径18cmのバフです。(スポンジバフも可。)

サンダー用スポンジパッド



上記ブラシパッドは特注品です。
ご相談下さい。
パッドは市販のものでも構いません。

シャンパー



スクイージー



工具紹介Ⅱ

手持ちパッド



上記ブラシパッドは特注品です。
ご相談下さい。
パッドは市販のものでも構いません。

マイクロファイバークロス



通常のタオルで施工すると、汚れが拭き取りにくく、
また繊維が基材に付着します。
マイクロファイバークロスの使用をお薦めします。

スポンジ



不織布パッド



刷毛



ローラー



対象基材：SUS（HL,Vib.Mirror） 使用機材：・オービタルサンダー（塗布面積が広い場合）
 下地剤；K-1006CP05 ・オービタルサンダー用パッド
 O/Coat;D1308SNK ・手持ちスポンジ
 推定所要時間：15分/m² ・マイクロファイバークロス

1. 準備（※手塗りの場合）

K-1006CP05をよく振り、研磨剤がしっかりと分散したことを確認後、スポンジに適量とります。

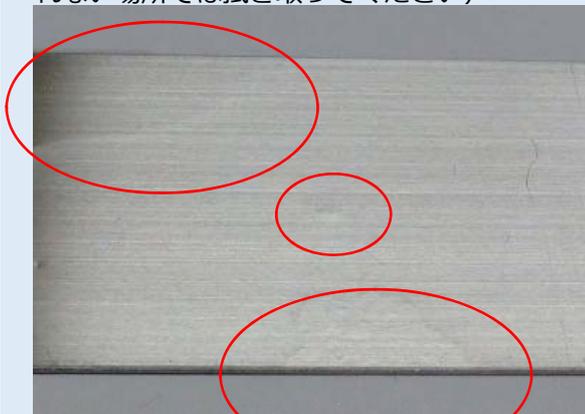
2. 下地処理；K-1006CP05

ステンレス表面の汚れを落としながら表面活性化を行います。SUS表面に弾きが無くなり薬剤がなじめば修了です。（HLは目に沿って研磨して下さい）



3. コンパウンド除去・親水確認

水をかけて、コンパウンドを洗い流しながら、親水具合を確認します。水を弾いている箇所は上記①～②を繰り返します。（水を掛けられない場所では拭き取ってください）



弾いているので、再度磨く

4. 乾拭き

再度に乾いたマイクロファイバークロスで表面の水分を拭き取ります。下地完了。

下地施工終了

オーバーコートの塗布

使用薬剤：D1308SNK
 耐久性を高めるため、必要に応じて、
 オーバーコートの塗布を行ないます。

1. 塗布（2回以上繰り返します）

薬剤を使用前に良く振ってください。水で固く絞ったマイクロファイバークロスに、D1308SNKを適量とり、やや強めに満遍なく塗り込みます。塗布面積が広い場合は、50cm四方程度に区切って塗り込んでいきます。

2. 斑除去

塗布後直ぐに白く濁った色になります。塗布斑です。水をたっぷり染み込ませたマイクロファイバークロスで斑を拭き取ります。

3. 乾拭き

表面の水を乾いたマイクロファイバークロスで拭きとり、斑が残っていないかチェックします。十数分で被膜が硬化します。



鏡面仕上げのステンレスに関しては、磨きの過程で傷が入る可能性がありますので目立たない端で下地処理のテストを行ってください。



手持ち用スポンジでは下地の汚れ除去が不十分になりがちですので、オービタルサンダーなどの機材の使用をお勧めします。

施工方法 <ステンレスシンク> AD Tech Coat

対象基材：シンク(SUS-430)

使用機材：・オービタルサンダー（塗布面積が広い場合）

下地剤：K-1006CP05

・オービタルサンダー用パッド

O/Coat;C-5406UV73

・手持ちスポンジ

推定所要時間：20分/m²

・マイクロファイバークロス

1. 準備（※手塗りの場合）

K-1006CP05をよく振り、研磨剤がしっかりと分散したことを確認後、スポンジに適量とります。

2. K-1006CP05塗布

シンクを磨きながら塗り込みます。薬剤の弾き具合を確認しながら、薬剤がなじむまで磨きます。



3. コンパウンド除去・親水確認

水をかけて、コンパウンドを洗い流しながら、親水具合を確認します。水を弾いている箇所は上記①～②を繰り返します。



4. 乾拭き

乾いたマイクロファイバークロスで、コンパウンドを除去しながら表面の水分を拭き取ります。

施工終了

オーバーコートの塗布

使用薬剤：C-5406UV73



耐久性を高めるため、必要に応じてオーバーコートの塗布を行ないます。

1. 薬剤の配合

C-5406UV73は重量比で主剤と硬化剤に分かれています。主剤4：硬化剤1で混ぜたものを準備します。

2. 塗布（2回以上繰り返します）

濡らして固く絞ったマイクロファイバークロスに、C-5406UV73を適量とり、塗り込みます。塗布面積が広い場合は、50cm四方程度に区切って塗り込んでいきます。

3. 養生

10分ほど養生期間を設けて下さい。

4. 乾拭き

ムラがないことを確認しながら、マイクロファイバークロスでしっかり拭き上げて下さい。



C-5406UV73は、耐久性アップの為、硬化性があります。その為、ムラになる恐れがございますので、出来るだけ均一に塗布のこと。



長期にわたって使用されているシンクの場合は、油分がシンクの表面傷内に浸透しているため、完全な親水状態にすることは困難です。



注意！！
強酸性洗剤は使用しないでください。被膜に悪影響が出ます。